

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Frontierkids Mio Tesoro			
○保護者評価実施期間	2025年 8月 26日 ~ 2025年 9月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日 ~ 2025年 9月 12日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 24日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携がスムーズで、情報共有が迅速に行われている。子どもの小さな変化や困りごとについて、日々のミーティングや連絡ツールを通じて共有ができており、支援の一貫性が保たれている。	子どもの「できた」を確実に拾うため、観察記録と動画等を活用して職員間で支援方法を統一している。	活動ごとの評価基準や教材の使い方マニュアルを整備し、誰が担当しても質が一定に保てる体制をつくる。
2	個別支援計画の内容が丁寧で、保護者にわかりやすい説明ができる。専門用語を避け、保護者が家庭でも取り組みやすいように提案している点が評価された。	構造化や視覚支援、スケジュール提示など、子どもが見通しを持って過ごせる環境作りを意識して行なっている。	保護者との情報共有をより密にし、家庭と事業所の連携をさらに強化する。
3	子ども一人ひとりのペースに合わせた関わりが職員全体に定着している。急がせず、肯定的な声掛けや成功体験を重視した関わりができており、安心して活動に参加できる環境が整っている。	構造化や視覚支援、スケジュール提示など、子どもが見通しを持って過ごせる環境作りを意識して行なっている。	保護者との情報共有をより密にし、家庭と事業所の連携をさらに強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	書類業務の効率化が十分でなく、職員の負担が大きい。記録の重複入力や情報整理の時間がかかり、支援準備に割ける時間が圧迫されている。	業務が多岐にわたり、優先順位付けが難しい。	記録様式の統一と、ICTツールの導入による業務効率化。
2	一部職員間で支援スキルのばらつきが見られる。特に構造化支援・行動分析・発達特性の理解について、経験の差が支援の統一感に影響している。	支援スキル研修を体系的に実施する時間が確保しづらい。	毎月のミニ研修やロールプレイを取り入れ、スキル差の縮小を図る。
3	環境設定や教材の管理・更新が後回しになりやすい。活動内容に比べて環境面のチューニングが追いつかず、子どもが集中しにくい場面がある。	職員配置が日によって変動し、環境調整に十分な余裕がない日がある。	環境チェックリストを作成し、教材の配置・更新を定期的に職員全体で見直す。